

令和2年第9回定例会会議録要旨

◆出席委員 豊田暎光 二上由美 海老原千浩 山本憲一 陶山光秀

◆欠席委員 なし

◆出席職員（事務局） 大矢雄二 村岡 誠 佐土原敏郎 日高健一郎 中武瞳

◆会議録署名委員指名 二上由美

◆教育長報告要旨（9月1日～9月30日行事実績）

①教育総務課

○9月3日（木）議会招集

17日までの会期で第3回定例会が招集されました。台風10号の影響で一般質問が延期になり16日・17日に行われました。内容についてはこの後教育総務課長より報告をさせていただきます。

○9月13日（日）中学校体育大会

規模を縮小しての半日開催でした。与えられた時間の中で3年生を中心に精一杯取り組んでいただきました。参加されたそれぞれ教育委員さん方の感想をお聞かせいただければと思います。

教育長 私からの報告は以上になります。先ほど申し上げました議会の一般質問の内容等について教育総務課長から報告をお願いします。

教育総務課長 今回一般質問が9月16・17日に行われました。6名の方が登壇されました。新型コロナウイルス対策ということで質問がありました。感染症に伴う子供の差別、偏見、いじめ等に対するケアということでありますが、答弁としまして、「県からの通知文を基に教育委員会から各学校に対し差別やいじめの防止に向けて細心の注意を払うよう指示をした。また8月15日に文部科学大臣から感染症に対する正しい理解と協力を求める内容の緊急メッセージが発出され、子供や保護者に配布した。児童生徒に対するケアについては、まず個人情報保護を優先することはもちろん、関係する子供を守り抜くという強い意志の元、教職員の組織的な対応により全面的に支援する体制作りに努めていく」ということでお答えしております。

2番目に本庄高校の活性化ということで質問がありました。答弁の内容としまして、「本庄高校は今年180年を迎える県内でも有数の歴史と伝統を誇る学校である。地域で活躍し、地域をリードする人材の育成を目指し、コミュニティスクール制度を導入する等、時代の流れに合わせた事業に取り組んでいる。また部活動では県内でも特

に専門性の高い指導者が配属されており、活躍が目立つようになった。町ではこれまで宮崎市や綾町と一体になり、高校の魅力化が地域の魅力化に繋がるという観点で、本庄高校魅力化推進協議会を中心に県への要望活動や近隣中学校へのPR活動を行っている。部活動の活性化は更なる本庄高校の魅力化を引き出すことに繋がることから効果的な支援策の在り方について検討していく」ということでお答えしております。

3番目にがん教育の実施状況について質問がありました。答弁といたしましては、「がんに対する正しい理解や健康と命の大切さについて考えることは、学校における健康教育の柱として非常に重要であると考えます。現在がん対策基本法を受け、がんに関する教育の普及啓発が行われており、来年度から全面実施となる中学校の学習指導要領の保健体育科においても明確にがんに関する指導が位置づけられた。小学校でも生活習慣や喫煙、飲酒、薬物乱用などはがんを含め健康を損なう原因となることを学習しているところである。また参観日を利用して児童生徒だけでなく家庭での意識啓発を促す工夫もなされている。今後もがんについての理解を深め、自分や周りの人の健康について関心をもち、適切な態度や行動ができる児童生徒の育成に努めていきたい」という答弁でした。

最後に、コロナ禍の影響としての授業時数の確保ということで質問がありました。答弁といたしましては、「新型コロナウイルス感染拡大により1ヶ月半も臨時休業を余儀なくされ、その間の授業日の設定や内容の取り扱いでいくらか工夫できたものの、それでもかなりの時数が不足することになった。その対応策として運動会などの行事の精選や見直しを進めたり、文科省が示した学習内容の重点化に基づいて教育課程を再構築したりして授業の充実をはかり影響を最小限に食い止める努力をしている。また校長会で協議して夏休み期間中の8月後半に6日間の授業日を設けて一定の授業時数を確保したところである。今後も厳しい状況が予想されるが、これまで以上に創意工夫を重ねて児童生徒の学力保障を含む生きる力の育成に努めていきたい」という答弁でした。

また、教育総務課の補正予算の内容は、GIGAスクールサポーターの業務委託、トイレの洋式化改修工事をコロナ対策で地方に分配される交付金を充てて行うということで議決を受けたところです。次に、原則として予算は議会の議決を経てから予算化されるのですが、時間的余裕がない等町長が特に必要と認めた場合には専決処分として事後に議会承認を受けることができます。今回、専決処分として、国からの学校保健特別対策事業交付金を活用し、3校の小中学校で未設置だった少人数教室へのエアコン設置、また本庄小の改修工事による大型冷風機のリースを予算化しました。最後に、追加議案として3,000万円以上の財産購入は議会の議決を必要とするとなっています。タブレットパソコンを5年間の補償費用（セキュリティーやライセンス費用）も含めて購入しております。議会に関する報告は以上です。

教育長

教育予算については教育委員の皆さんにも詳しく報告した方がいいのではということと準備をさせていただきました。どういうものに予算を配当しているか、コロナ感染症対策に国から補助金等が出ているのでそれを大いに活用して教育環境の整

備をしていくことを報告しました。質問等がありましたらお願いします。

教育委員 トイレは全部洋式になるのですか。

教育総務課長 数年前までは和式を1基ずつ残した方がいいのではという考え方があったようですが、最近は全部洋式でということ聞いております。

教育委員 男性用小便器は残すということですか。

教育総務課長 そのまま残します。

教育長 以前から一般質問等と言われてきた経緯があり、今までなかなか予算がつかなかった部分であります。今回コロナ関係で予算が付きました。

教育委員 トイレについてですが、洋式になった場合、消毒用クリーナーも設置するのでしょうか。もう一つは男子トイレについて、男の子の場合は小便器と和式トイレが分かれているので、和式トイレを使用するのを我慢する子がいることも考えられるので、そういう意味で洋式トイレになるといいのかと思います。小便器も含めて洋式トイレにすることは予算的に難しいということですか。

教育総務課長 何が必要かといった場合に、今はコロナの感染防止対策として国からの予算で対応できることなので全部を改修することは考えていません。今後そういった部分が問題視されたら対応していきたいと思います。

教育長 正しく恐れるとありますが、例えば洋式トイレを介してコロナに感染するということはあまりなく、基本的に机や椅子もあまり消毒しなくてもよいと言われております。コロナ感染症とトイレ洋式化は別のものお考えになってよいのではと思います。

コロナ感染を疑ってのいじめがあるのではないかという質問についてはずいぶん気を使いましたし、前回の定例教育委員会でも話題に出していただいて、それを参考にして学校に指導した部分もあります。

教育長 他にご質問はありませんか。

教育委員 ICTについて予算が付いたようですが、いつぐらいから運用されますか。

教育総務課長 入札は既に終わっていますので、学校に11月末か12月には整備できるように準備を進めています。子供達もそうですが、先生方にも知識や技術面のサポートをしていかないといけませんので準備と計画を行っています。

教育長 家庭での Wi-Fi 環境については今後対策があるのですか。

教育総務課長 今議会で八代地区に光回線が通る計画が予算化されましたので、これができたら当然環境が変わってきます。本庄・木脇地区でも Wi-Fi 環境が整っていないながらもルーター等を設置できなくてネット環境がない家庭もありますので、そういう家庭に対してどういう支援の方法があるか検討していきたいと思います。

教育長 その他に質問等ありませんか。次に中学校の体育大会の感想がありましたらどなたからでも結構ですのでお願いします。

教育委員 八代中です。規模は縮小して午前中だけの内容でしたが、子供たちは短いなりに「つまらない体育大会にたくない」という思いから、それぞれ工夫していました。コロナだったけどとても良かったという体育大会にしたいという開会式の時に生徒会長さんもおっしゃって、子供たち全員それに向かってやっていた内容で非常に良かったです。応援ダンスみたいな今までなかった新しい試みで、子供たちは楽しんでいたのかなと思います。とてもいい体育大会だったと思います。

教育委員 木脇中学校の体育大会を見させていただきましたが、木脇中は赤白分けての応援団はなくて、クラス対抗というような内容でした。応援リーダーを作ってしまうと大声を出してしまうという配慮で応援団は作りませんでしたという話から始まったのですが、やっぱり今まで通りの団で飾り付けをするような華やかさはなかったので、始まるまでは少し寂しいなという感じがしました。しかし、その中で子供たちがすごく生き生きと楽しそうに参加しているのがとても印象的でした。最後に子供達だけで作った創作ダンスがありまして、それがとても素晴らしくて、子供たちの気持ちが分かるかのように保護者からアンコールがかかって、もう一回創作ダンスを踊ることでさらに盛り上がるというような内容でした。保護者参加は1年生から3年生まで参加できたのですが、保護者が見られる位置が広くとってあって、広すぎて逆に寂しさが感じられました。保護者からの声援もすごく出ていて、本当にコロナに負けない体育大会だったかなと思います。とても楽しく見させていただきました。

教育委員 本庄中です。学年リレーがそれぞれあるのですが、1年生のリレーで全チーム違反があって結局優勝なしでした。バトンゾーンがうまくいかなくて最後の一組だけ残っていたのですが、その一組も違反があって、審判の子が一生懸命に見ているので審判の子の気持ちを大事にしたいというので、それが本当に教育ですよと話をしました。きっと1年生はあまり練習もできなかったからそういうことがあったのかもしれませんが、今後はバトンゾーンでの間違いはないと思いました。それで2年生3年生は気を付けた部分もありうまくいったと思います。それと3年生のソーラン節が、いつもは全学年だったと思いますが、ものすごく子供たちのコロナだけ全員でやるんだという意識がビンビン伝わるような目の輝き、動きにすごく感激しました。

教育長 保護者制限についての話題がありましたが、保護者の声はどうでしたか。

教育委員 私個人の意見として、各世帯1人ずつくらいは良かったかなと感じました。校長先生・教頭先生方とPTA役員と2～3回話し合っただけで決めたことなのでこれ以上言えないかなと思いました。

教育委員 すごく空いていましたよね。3分の1か4分の1くらいしかいらっしゃらない状態で、3年生に兄弟がいるところは良かったらうけど、1・2年生の保護者は見たかったらうなと思いました。

教育長 私も本庄中に行ったときに、木脇中もそんなに多くはなかったですが、本庄中は制限をしていると考えて空いているところもあるのにと感じながらでした。ただ学校として案内する側はあんな形になるとは思っていませんから、本庄中の保護者が実際に来たら600名から700名になるはずですよ。それを考えたら、子供のソーシャルディスタンスでいつもより距離をあけていたので、保護者の観覧する場所がそんなにないという判断でした。結果的に行ってみるとまだ空いているなという感じでしたが、恐らく予定していたよりもあんまり来られなかったということで、全員に案内していたらすごい数になったらうなというのは、事前の計画としては仕方ないのかなという気はしました。

◆その他

◇行事予定について 各課行事予定表に基づき説明

教育長 ご質問等ありませんか。よろしいですか。次に「(2) その他」について報告等はありませんか。

明日コロナ対策本部が開かれますが、唯一、宮崎市・東諸県郡地域だけが新規感染者が限定的な黄色の圏域でしたが、感染未確認圏域の緑色の地域に変わりました。それを受けての施設の開放やいろんな講座について現在の段階について説明をお願いします。

社会教育課長補佐 施設開放については実施しています。ただ施設の収容人数に制限があり、体育施設については国のガイドラインにそって50%のままになると思います。

教育長 決定については明日ホームページでお知らせすることになりますが、施設の開放とともにいろんな動きが出てくると思います。9月19日から11月末までという緩和で12月はまた様子を見てということのようですので、4連休のあの人混みを考えるとまた感染者が多くなるかなという気がしますが、国の考え方は経済活動と感染拡大防止を両立させるということからいくと、恐らく元に戻すようなことはないのだろうと思います。経済面の冷え込みから考えると、全部がいけないというよりか、上手に

付き合っていき、守るべきところは守るという両立に向って行くのだろうと思います。

教育委員 昨日感染レベルが下がって、今より緩和されるというようなことはないのですか。

社会教育課長補 施設については今説明したとおりですが、感染レベルが下がるとすると、保健部門の方で扱いが変わっていくのかなと思います。

教育長 周りの市町村の状況を見ながら、宮崎県は他の都道府県とは違う感染状況にあるので、県の動きと市町村の流れですが、少しずつ緩和に向って行くとは思いますが。完全に緩和するというにはならないと思います。

せっかくの機会ですので、他に議題等がありましたらどうぞ。

教育委員 授業の進み具合はどうですか。

教育対策監 学校や教科によって若干の差はありますが、基本的に進度については概ね追いつきつつあるという状況です。ただ特に小学校につきまして、体育等の実技系の教科はどうしても身体接触を含むのである程度制限がかかっていたので、時数的にそれを5教科の方に振り分けている状況ですので、今後そのあたりを補っていくことになるのかなと思います。それから入試に関して各学校の進度は確認しておりますが、推薦入試が2月4日に行われます。一般入試が3月3、4日です。一般入試に関しまして町内の中学校では1月31日までには出題範囲まで終わると聞いております。推薦入試の内容についても終わるということですので、テスト範囲については終わる状況にあります。県の方も定着がまだ十分でないということで入試範囲を縮小するようですので、余裕がある分は定着させる時間としてやっていくことになろうかと思えます。

教育委員 私の子供から、分からないままどんどん授業が進んでいき、先生もとりあえず進めないといけないというような感じと聞きます。このあたりをどう対処していくのか考えてもらいたいなと思います。通常だったら少し難しいところは時間をかけて教えることもできるのですが、とりあえず進めていっているような状況のようです。その対策を今後どこかで取ってもらいたいなと思います。

教育長 貴重なご意見ありがとうございます。入試の範囲を少なくするというのと、学校が追いつけるように授業を組んでいます。一人ひとりどれだけ理解しているかはこれからの課題で、今の貴重なご意見は私の方から校長会で話をします。

教育委員 コロナ対策として人員補助が予算化されていると思いますが、国富町では人員の加配等があるのですか。

教育総務課長 国・県の事業で、スクールサポートスタッフが配置されました。消毒等のコロナ

関係の業務が増えたということで、先生たちの補助的な役割で、授業にはつきません。

教育対策監 県内でスクールサポートスタッフが50人ついたのですが、その内5人が本町ですので、割合としてかなり高いと思います。それと学習指導に対しての補充については木脇小に学習指導員という形で1名ついております。今年度だけの措置になりますが、指導にあたる先生をつけております。

教育長 今回のコロナ関係ではなく、働き方改革や教員の負担軽減分を目的として、本庄小には従来から配置されておりました。

教育長 他にございませんか。

教育委員 学校関係はどうしても止めるわけにはいかないもので、コロナでもいろいろ工夫しながら続ける努力をしています。一方、社会教育課の行事をみると中止や延期になっている行事があります。中止するのはコロナだからということで言い訳になりますが、「with コロナ」と言うのだったら、別の形でもいいからなんとかやれる工夫、共存する何かを考えないといけないと思います。地区の敬老会もなくなっています。感染者がいない小さな地区の人たちだけでやる敬老会すらやったらいけないという雰囲気ですが、そこは考えた方がいいのではないかなと思います。なんとか別の形でもいいから活動する工夫をしていかないと。学校に習ってですね。

教育総務課長 以前の定例教育委員会で話した時には、先生や児童生徒で感染者が出た場合には今のところ休校にしないといけないと言いましたが、宮崎市の対応を見た場合にも3日間休校にして消毒した後に再開されました。やはり最初の頃にすると、その辺りの対応が今まで通りでよいのかという疑問や、生活する上で非常に支障になるということで今後スタイルが変わってくると思います。法で言えば感染した子や濃厚接触者は当然欠席してもらいますが、それ以外は通常通り学校に来て授業を受けることになってくると思います。委員がおっしゃるように全然接触がない部分ではその地区の方々がやると言えば個人的にはやるべきじゃないのかなという気もしているところです。

教育長 恐らくこれからあの3月2日に国が一斉に声をかけて学校を休ませるようなことはないと思います。個人的な思いでしかないのですが、今の動きを見ていると、あの9月19日からの4連休で帰省が緩和されている気の緩みはどこかで出てくると思いますが、あれは今言われた通りにwithコロナという形の進み方で、ある程度自分たちで身を守って感染対策はしないといけないけれども、何もかも閉じ込めておいて動くなという形の対策ではなくなってくると思います。行事は前もって決めていくことと、高齢者が集まる場合に重症化が今一番困るので、感染することよりも、重症化する率が高齢者は高いということで、ちょっと過敏になっています。若い方は感染してもそんなに影響はないし、なぜこんなに制限がかかるのかと思っていますし、特に

お店等の業種の方はいつもまでもこの状態であることにものすごい憤りをもっているのので、付き合い方というか、行事もいづらか復活してくるのかなと思います。今のところ前もって決めておかないといけない行事についてはやはり無理はしないという現状です。感染状況が落ち着いているからいいですが、これが町内で感染者が出てくるようになった場合に、あれはやらなくてよかったのではないかというようなことにならないとは限らないので、やっぱり慎重ですね。全て個人的な意見です。

教育総務課長 8月の自殺者数が昨年と比べると増えているようです。これは経済が回らない影響も大きいと言われていています。80歳以上の方が感染しても重症化するのは1割、死亡する割合はもっと低いです。感染者も80歳代の方にたくさんいますが、宮崎県で亡くなられた方が1人いますが、感染者数の割合からすると低いと思います。

教育委員 課長が言われました自殺の件ですが、芸能人の自殺というのがメディアですごく報道されているのを見て、小中学生・高校生の子供達がどういう風に思っているのか、コロナに関する誹謗中傷とか、そういう形での芸能人の自殺に関して、加えてがん教育への知識というか、してはいけないということを子供達に伝えていってほしいなと思います。そういうニュースが多すぎて、それを子供達がどう捉えているのか物凄く心配なので、先生方にも伝えていってほしいなという気持ちがあります。

教育委員 先程子供達が感染した時に秘密にしたいという話をしましたが、これと一緒にコロナが治っても言うのをためらうというパーセンテージがすごく多かったのがすごく気になっていて、文科省でも科学的知見に基づいてそういうことはないとはっきり学校の先生方にも言っていただいて、治ったら大丈夫ということをお子達に意識させていかないと、誰とも話せないという感じになってくると困るなと感じました。

教育長 校長会でも早い時期から「賢く次の波に備える」と言ってきました。一回ああいうことがあったのだから次バタバタするようなことがあってはいけません。学校としては十分対策を取っておいて子供のケアもそうですし、学習指導もそうですが、そういう形をお願いをしているところです。この次どういう風になるか誰も初めてのことで予測がつかないから恐怖というのが先に立ってくるが、対策は万全に、ただし一方ではずっとこれから付き合いなければならぬという思いがあるのでどうすればよいか、委員が言われた行事についても何もかも中止でよいのかということももう一度考えなければいけないと思っています。

教育長 その他ご質問等ありませんか。ないようですので、以上で定例教育員会を終わります。